

大清公報

第33号

＜編集・発行＞ 大阪府八尾市千塚2丁目96番地 大阪府立清友高等学校占春会事務局
TEL (0729) 41-3456 FAX (0729) 41-8739 (〒581-0862)
＜印刷・製本＞ 大阪市東成区東今里3-17-18 (有) ライク (〒537-0011)

母校 清友高校】も、週五日制がすっかり定着して、『確かな学力』に向けて、諸先生方が全力をあげて取り組んでおられます。

今、私の手許に、「大阪府立『清友高等学校 学校案内』」のパンフレットが置かれています。表紙は色刷りの美しいもので、『はばたけ清友』と書かれ、緑の樹々の中心に、白い時計塔が“でん”と位置づけられて作成されています。覚えていらっしゃいますか？

その時計塔は、平成二年、母校 清友高校の創立50周年の記念事業として上畠春三から贈つ

占春会員の皆さんお元気ですか。平成十四年度卒業生の新入会員をお迎えして、瞬く間に半年が過ぎました。皆様には、それぞれの進路先でご活躍の事とお慶び申し上げま



たものです。学校の授業の妨げにならぬよう、又生徒達の事故の無いように、猛暑の中を一ヶ月半かけて工事にかかりました。爽かな秋風が吹き、やがて除幕式を致しました。

皆様方から多くの激励と

その時計も未だ狂うことなく確かな「時」を刻んでおります。いまや母校のシンボルとして案内書の表紙になりました事が、大変嬉しい事とてご報告致します。

さて、二十一世紀は大揺れに揺れた幕明けでした。又、「テロ」というあつてはならぬ事態や、独裁者政治の国が未だ現存している事実を私は悲しく思います。結局自分の国は自分で守らなくてはなりません。お互いがしつかりとした考え方を持つていなくては駄目だと思います。

高齢化社会に比例して、少子化の現実は、非常に憂うべきことで、私共高齢者が、若者に迷惑をかけないようになると、思っています。せめて私の生命のある間は、少しでもお役に立ちたいと願っている昨今

お願い

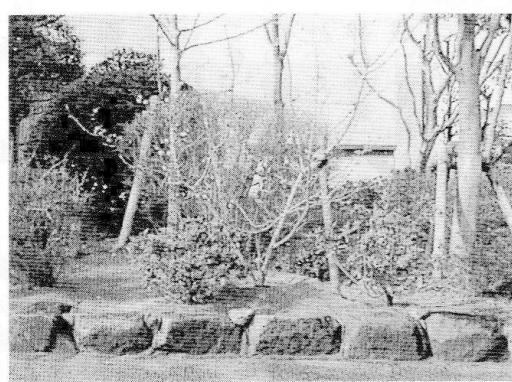
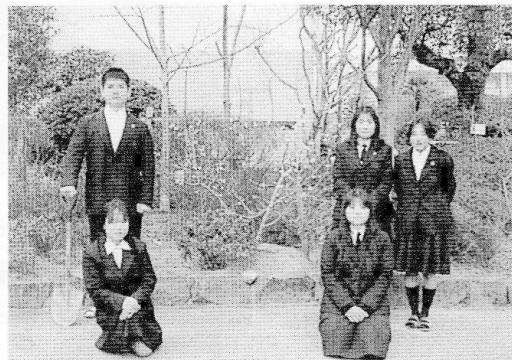
卒業生の皆様への呼び掛け
清友高校人材バンク

「登録については、清友高校（住所・電話・ファックス等は一覧）参照下さい。」下川教頭先生まで連絡下さい。

「総合的な学習の時間」委員会による

卒業記念
植樹

平成十五年三月の
卒業生(府高24回生)へ贈る



平成十五年卒生へ送る「臘梅」の植樹
毎年一月頃、臘で作つたような艶の
別名「早咲の梅」ともいう。

平成十五年卒生へ送る「臘梅」の植樹
毎年一月頃、
で作ったような艶のある花をつける。

毎回この会議を心得たいと
て下さる方もあると聞いておりま
す。貴方の想つている事
等、別紙近況報告にお書き下
さい。あなたのひと言で清友
の絆が深く結ばれて行きます。
声を大にして私は言いたいの

です。皆様と共に“永遠に清友の名前は消えないよう”にと、母校への深い思いをよせて下さい。お願ひ致します。

最後に母校清友高校の発展と皆様のご健康を祈りつつ、ご挨拶と致します。

平成十五年度

母校だより

(敬称略)



退職



山下 賢三先生 (事務長)



岩田 直静先生 (教諭)



浦川 渡瀬先生 (教諭)



笠原 中西先生 (教諭)



馬場 康雄先生 (教諭)



近藤 宏先生 (教諭)



山本 淳美先生 (教諭)



英樹先生 (教諭)



田口 健司先生 (教諭)



池島高校へ (教諭)



矢倉 正水先生 (教諭)



田中 英仁子先生 (教諭)



杉山 茂身先生 (事務長)



柳澤 伸彦先生 (日史)



田坂 玉川高校へ (数学)



柴田 浩之先生 (生物)



八尾東高校より (美術)

加賀 恵子先生	柴田 浩之先生	田坂 玉川高校より	柳澤 伸彦先生	杉山 茂身先生	田中 英仁子先生	布施高校へ
八尾東高校より	(生物)	(数学)	(日史)	(事務長)	(教諭)	

24期生 クラス幹事

(◎学年代表 ○学年副代表)

1組	舟戸 康哲	中原 奈緒美
2組	◎平島 忠明	近澤 直美
3組	山崎 善光	河合 かおり
4組	藤井 直	久木原 麻矢
5組	川野 義隆	豆塚 恵理加
6組	○藤井 宏章	谷井 みゆき

左記の方々は、今年卒業された府高24回生の回期代表の方々です。府高24回卒業生

府高24回生
回期代表

△敬称略

笠原 英樹先生 (国語)
(期限付講師)

(平成十五年三月卒業)のみなさまを誘なさまは、どうかよろしくご協力下さいます様お願ひいたします。また回期代表のみなさまは、府高24回(各クラス)の代表として、ご担当の会員の状況や異動を具さに把握され、占春会中枢との連絡を密にして、代表として、パイプ役としてご連絡をよろしくお願いいたします。

また、回期代表定例会にも出席されて、総会などにも積み重ねておつたままであります。お申込み下さい。

お知らせ

■創立60周年記念誌 (一冊一、八〇〇円)

■占春会新会員名簿 (一冊三、八〇〇円)

■残部あります。お申込み下さい。

★昨年同様に、会報と同送のハガキの申込欄にご希望を○で囲み、ハガキをご返信下さい。追って手続きを送付いたします。

極的に会員のみなさまを誘なさまは、どうかよろしくご協力下さいます。

平成14年度 会計報告書 占春会

(H14年4月1日~H15年3月31日迄分)

単位=円

収入	支出
前年度繰越金 通算59期生入会金 (平成14年度卒219名分)	6,486,136
年会費(平14年度分) (記念誌代含む)	985,500
利息	558,630
	11,091
合計	8,041,357
	合計
	8,041,357

<翌年への繰越金の内容>

三井銀行鶴橋支店 大阪商工信用金庫 生野支店	定期預金 普通預金	3,855,072 2,287,004
合計	計	6,142,076

上記の通り報告致します。
平成15年3月31日

会計監査
柳生 和子
計 植木 功子
会会計
中野 郁子
柳生 功子
木場 房子

☆厳正に監査の結果、上記の通り相違ない事を報告致します。

会計監査
中野 郁子
柳生 功子
木場 房子

☆ 平成9年から、従来の賛助金制度を取り止め、年会費制度に切換えましたところ、多くの方からご賛同とご協力を得まして、とても力強く思っております。皆様のご芳志に感謝し、大切にお預り致しております。今後共宜しくお願ひいたします。(占春会)



咲く様に、人生の節目となる高校生活三ヶ年を有意義に過ごせた事、又無事に過ごせた事は今更の様に私の人生にも深い礎となつております。スポーツ、学習、文化祭行事などすべてが少しづつではありますが、人生の良い経験になつてます。社会の変化が激しい時代こそもう一度、じっくりと原点を見直し、又、新たなる未来のために良き青春時代をすごせる喜びと学習出来る世の中に感謝して邁進される事を願つております。

元気な「シルバー」活性化

高女二回 稲部 恭子



長寿化と少子化によって日本の総人口は平成18年頃にはピークになり、減少に転じる一方、今後ますます65歳以上の人口が増加し、その中で関西の高齢化のスピードが高まり、いざれ高齢化社会になる可能性が強まるでしょう。私自身学園二期生ですものね。

どんなときでもへえおおきに
これから先も自分自身に忠実に
元気で頑張つていくつもりでおり
ます。占春会の皆々様もお元気で
お会い出来る日を楽しみにしてお
ります。

清友高校第五回 卒業二十周年記念同窓会 の実行委員に参入して

田時、場所を決め何年か前の名簿を元に電話で連絡しました。なかなか連絡が取れず中止しようかなと思った時、占春会の事を思い出し役員に参加している友達に一番新しい名簿を借りれないかと尋ねてみました。でも、名簿は私達会

初心に返って母校のお役に立ちたいと思い、すぐOKし加入させて頂きました。

昨年9月28日第一回実行委員会で顔合わせがありました。何せ学年全体の中からのメンバーなので見た事ある人もいれば、全然知らない話すらした事もない人もいました。こんなメンバーに私は入つていけるのかと正直思いましたが、同級生だから馴染むのも早いし、意見は気がね無く言い合えるし、過去の同窓会の情報など聞く事もでき、とても良い雰囲気であつと

夢と勇氣と希望の儀式

他人のことはほめなはれ
聞かれりや教えてあげてでも
知つてることも知らんふり
いつでも阿呆でいるこっちゃ
一、勝つたらあかん負けなはれ
いづれお世話になる身なら
若いもんには花もたせ
一步さがつてゆづるのが

そんな去年の夏 每年八月は送られて来る占春会会報が届きまして。いつもは、気にも止めずさつと目を通して捨てていたのですが（すみません）、その時は何故か「清友」と言う文字が懐かしく引き付けられるように全て読みました。その中に府高五回生の学年同

員が自ら申告で住所や氏名の変更をしない限り卒業時のままだったのです。その頃、学年同窓会を開催しようとするメンバーが協力メンバーを集めていた頃でした。占春会の名簿を借りようとした事がきっかけで、友達からメンバーに参加してくれないかと誘われたのです。その頃仕事もまだしていませんでしたし、一・二年のクラス同窓会の参考にもなるだろうし、何よりもこれから18年の最初の年に

最後に、私は今本当に実行委員会に参加する事が出来てこのご縁で感謝しています。どうか府高五回卒業の皆さん、学年同窓会のご協力をとご理解をお願いしますとともに、来年2月22日に元気に再会しましょう。

実した教育を受けられなかつたけれど、学び舎での教えが折にふれよみがえつてまいります。青春の日々を思い起こせば浮かぶ師の顔、温かい人間性をもつて導いてくださつた諸先生方の忘れられない想い出が生涯の宝物だと思います。

年齢を重ねれば必ず老いる、日常生活への不便も生じてくる老化は避けられないが、上手に老いる秘訣はあるのでは…。

『ボケずに長生きしなければ!』
一、年をとつたら出しやばらず

で、清友高校を卒業してから18年間勤めた会社を退職しました。退職を決意した時、自分で勝手に18年を一区切りにして、生まれてから高校卒業までの18年、会社に入社して退職までの18年、そしてこれからこの18年を一から又頑張ろうと心に決めました。思えば仕事で落ち込んだ時、何故かいつも高校時代のサイン帳を見ながらあの頃を思い出し、又「明日から頑張ろう」と何度も元気付けられました。それ程、私にとっての高校三年は、月もまたい日などつ



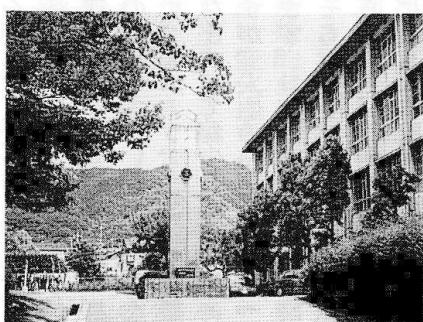
言う間に時間は過ぎていきました。あれから計六回実行委員会は、着々と進んでいます。私は会計という大役を任せられました。実行委員になつた以上は、皆一丸となつて五回卒業生20周年記念同窓会を成功させようと日々同級生に連絡したり、連絡先探しに頑張っています。この会報も多分昨年よりは、多くの方に届き読んで頂いているものと思います。あと半年私達実行委員は一人でも多くの方に参加して頂けるよう最後まで頑張ります。

境とが右往左往しました。

久し振りに唄った校歌、校内で
歌う校歌は何とも言えない気持ち
になり、学生時代の思い出が走馬
灯のように蘇ってきました。

校長先生のお言葉は、自分自身
までが励まされ、勇気と希望がわ
いてきました。

ただ一つ残念に思つたことは、良くも悪くも、自分が目立ちたいという気持ちが強く前面に出る子達が多かったということです。これも全てがテレビの影響が大きいのではないかと、ぼくは思います。



しかし、本当に久し振りに母校清友高校を訪れ、夢をかなえる第一歩となつた卒業式に列席できたことは、清友の卒業生であることと誇りに思う気持ちの再確認の場だった事は言うまでもありません。そんなぼくも、来年は卒業二十二周年を迎えます。二〇〇四年二月二十二日、僕達府高五期生が盛大に集う日を、今からとてもとても楽しみにしています。

私の住む町

府高5回 一瀬 郁子

の町にはまだ地域社会が生きています。私には1歳5ヶ月の息子がいます。高齢出産&難産で産まれてきましたが、元気でスマッシュしています。

ない私にとって、町内幹事などは大変な任務ですが、より良い地域社会を創っていく為にはいたし方ありません。

「百分の仕事と百二十%の遊びをモットーに走り回っていました。気がつけばもうこんな歳っ！」

「百分の仕事と百二十%の遊び」
をモットーに走り回っていたら、
気がつけばもうこんな歳つ！

高校卒業から早や20年が経とうとしています。日々の生活に追われ、気が付けば40歳が目前に迫りました。そんな折、高校時代の友人から連絡が入り「卒業20周年の同窓会を開く事になったので、他の友人に事前連絡を取つて欲しい。それとこの会報発行に向けて、

何か近況報告を書いて欲しい。」
との事でした。久しぶりにペンを握って机に向かう自分自身が可笑しく、懐かしい気がします。占春会会員の皆様の目に触れる事を思うと大変お心づかないので

高校時代を振り返る時間を与えてくれた方に感謝しています。私は3年前、結婚と同時に35年間住み慣れた町を離れ、主人の実家の隣へ越してきました。マザーレイクこと、琵琶湖のある大津市です。

ん見て！一輪車に乗れる様になつたよ！』『おばちゃん、赤ちゃん抱かせて！』などと、声を掛けてくれます。私も子供達に話し掛けたり、時には『そんな事をしたらダメよ！』と注意したりします。そして隣には、息子の誕生を心から喜んでくれた、おじいちゃんとおばあちゃんがいます。核家族化が進む世の中で、育児ノイローゼになる母親が多いと聞きますが、私は何と恵まれた環境の中で子育てが出来るのかと、毎日感謝して過ごしています。

最後にいつも会報を届けて下さつて有難うございます。この会報のお陰で母校、級友との思い出が甦ります。来年の卒業20周年同窓会で、皆様にお会い出来る事を楽しみしております。皆様、是非参加して下さいね。

「縁あつて」

府高6回 増田 真由美

いつも何気なくサラッと読んでいたこの会報に、何故か縁がありました。今回の登場となりました。これをたまたま読んでる6回生の方は何

人いるんでしょうね

かれこれ卒業して18年程の月日
が流れました。みんなそれそれに
変化を遂げている事でしょう。と
ころがこの私は18年前に比べて、
あまり何も変わっていません。

就職先、名前に自宅にトレード

マーク? のソフトボーラ etc.:

変化と言えば体重&白髪の増加

と、瞬発力の減少…。でも行動力

こは更に書きがかかるつてあります。

いに更に廣きがたが、されど

「百分之の仕事と百二十%の遊び」をモットーに走り回っていたら、気がつけばもうこんな歳つ！ 最近、卒業アルバムを見る機会がありました。たまに集まる内輪の同窓会です。今回は4人で集い（うち主婦は一人だけ…）気分はすっかり高校時代でした。

今度はたくさんの同級生で、老け顔を見ながら高校生気分にならいいなあ…などと思う今日この頃です。

